



かない ひさお  
金井久男  
(日本共産党安中市議員)

総合的な歴史遺産の保存と活用計画・  
国際交流活動・碓氷峠の森公園整備について

松井田城址保存について

問 山城の重要な部分を市の指定史跡に先行することは可能か。

答 本丸跡など部分的な場所であっても、地権者全員の同意後、城址全体の測量、発掘調査した上で、答申を経て、教育委員会

碓氷関所について

問 保存活動が始まったようだが調査の進捗状況はどうか。

答 今年度から歴史の道整備事業に着手し、年度末までに、基本計画作成、文献や現地調査など実施していきます。

碓氷峠鉄道遺産群について

問 全国の赤レンガの構造物の中でめがね橋などの赤レンガ構造物が、東日本の中で「横綱」に位置付けられたが、今後の見通しは。

答 旧碓氷峠鉄道施設のシンポジウムで、講師から「東の横綱」だと発表がありました。市をP

Rする良きキャッチフレーズになると認識しています。

坂本「ふれあい広場」について

問 新たな交通対策を構築しないと、せつかくの設備も閑古鳥が鳴くことになってしまつのではないか。

答 デスティネーションキャンペーンの対応で、横川駅から峠の湯、めがね橋から熊ノ平までのバス運行を検討します。

その他、小田原市との交流、国際交流活動について質問しました。



国指定史跡になった築瀬二子塚古墳

議会運営委員会行政視察報告

議会運営委員会は、平成30年10月23日から25日までの日程で、宮城県登米市「議会運営（通年議会制）」について・議会のICT化について「及び岩手県久慈市「議会運営について」・議会改革の取り組み・タブレット端末の活用について」行政視察を行いました。

登米市では、平成27年から通年議会を導入し、その結果として、開会中の期間が長くなり機動的、弾力的な議会運営が可能となった、審議時間を十分に確保することができた、などのメリットについて説明がありました。

また、平成28年にタブレット端末を全議員及び事務局職員に導入し、本会議や委員会調査時の議資料を紙ベースからタブレットにより共有しているとのことでした。実際に端末機を操作できたことは大変参考となりました。

久慈市では、議会改革の一環として、市民参加と広聴広報活動の

充実を目指すため、市民と議会が協働し市政課題について話し合う「かだつて会議」を設置し、自由な雰囲気の中、ワールドカフェスタイルで市民と議員が話し合っているそうです。今までの議会報告会とは違い、参加者から出てくる意見やアイデアは前向きで創造的なものになっているとのことでした。本年度、議会基本条例を制定した本市において、その手法は大いに参考となるものでした。



議会運営について学ぶ（登米市）